

一般財団法人 滋賀県民間社会福祉事業職員共済会  
地域共生型社会推進事業助成金

## 事業完了報告書（公開用）

### 1、概要

報告日	西暦 2019 年 4 月 26 日
報告者	金子龍太郎
助成団体名 (所属団体名)	龍谷大学 社会学部 現代福祉学科
団体住所	〒 520-2194 滋賀 都道府県 大津市瀬田大江町横谷 1-5
団体電話番号	077 — 544 — 7209
代表者 (助成対象者)	金子龍太郎
助成対象事業	都市公園での野外保育：森のようちえんの保育環境整備と調査研究事業
事業（助成）期間	2016 年 4 月 1 日 ～ 2019 年 3 月 31 日
事業費総額	517,918 円
助成金総額	500,000 円

※住所・電話番号等は団体のものを記載し、個人情報に関わることは記載しないでください。

次ページ以降に「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」を簡潔に記載してください。

#### 注意事項

- ①共済会ホームページに掲載しますので**個人情報の掲載は禁止**します。
- ②「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」は**合計5ページ以内**で作成してください。
- ③**写真の掲載は原則禁止**しますが、どうしても必要な場合は**最小限度**に留めてください。
- ④写真を掲載される場合は必ず**撮影対象の方に事前に了承を頂く**ようお願いします。
- ⑤必ず Word ファイルのまま [shigakyo@cello.ocn.ne.jp](mailto:shigakyo@cello.ocn.ne.jp) へメールにてお送りください。

## 2、事業内容

### [保育環境整備]

報告者が代表を務める、環境ボランティア団体「森の風音」と野外保育団体「せた♪森のようちえん」が協働して事業を進めていった。

#### 2016年度

森のようちえん保育環境整備の一環として、保育のフィールドとなっている、滋賀県営都市公園「びわこ文化公園」西ゾーンを整備して、その一角に草花を植える作業を行い、当初の目的を達成できた。

**森の風音の年間活動**：環境ボランティア活動・保育環境整備活動。毎月第1、第3日曜日（定例活動日）毎週水曜日（自主活動日）計：72回 延べ：約350名参加

#### 植栽作業：

2016年9月4日：レンゲ種まき。森の風音会員：3名 森のようちえん関係者：12名

2017年4月16日：ヤマアジサイ、フキの植栽作業。森の風音会員：14名 森のようちえん関係者：8名

#### 2017年度

**森の風音の年間活動**：環境ボランティア活動・保育環境整備活動。計：70回 延べ：約400名参加

#### 植栽作業：

2017年5月19日：ナツグミとフキの植栽。森の風音会員：5名 森のようちえん関係者：7名

2017年6月18日：アオキとサクラランボの植栽。森の風音会員：3名 大学生：5名

その他、森の風音の活動日に、オシダ、オニグルミ、ヤマアジサイ、コアジサイ、ヤマブキ、ハシバミ、ユスラウメの植栽を行った。

#### 2018年度

**森の風音の年間活動**：環境ボランティア活動・保育環境整備活動 計：71回

延べ：約450名参加

**植栽作業**：森の風音とせた♪森のようちえん。植栽場所には、シカが出没して食害が見られるため、シカが食べない下記の植物を植栽して環境整備を進めた。その際、土壌改良剤（タテヤマユウキ）を施した。

2018年4月12日 ヤマアジサイ50株 ツワブキ100株 森の風音会員：12名 森のようちえん関係者：8名

2019年1月26日 ヤマアジサイ17株 森の風音会員：2名

2019年1月29日 ミツマタ20株 森の風音会員：3名 森のようちえん関係者：14名

### [調査研究事業]

#### 2017年度

毎月1回、計11回（8月は休園日）ビデオ記録と万歩計記録を行った。

その結果を日本保育学会で発表して、論文発表を行った。

森のようちえんの啓発をめざした「森のようちえんリレーセミナー」を龍谷大学で開催した。

東京で開催された「森のようちえん全国交流フォーラム」で発表した。

#### 2018年度

毎月1回、計11回（8月は休園日）ビデオ記録と万歩計記録を行った。

森のようちえんの啓発をめざした森のようちえんしがフォーラム「森から子どもの育ちを問い直す」を開催した。

日本発達心理学会にて、「フォーラム森の幼稚園（1）」を実施した。

日本保育学会にて、ポスター発表「ナチュラル・キンダーガーデンとしての森のようちえんにおける3年間の継続観察」を行う予定である。

森のようちえんの図書「森のようちえんでの遊びと学び」（仮題）をかもがわ出版から発行の予定である。



### 3、事業成果

#### **保育環境整備]**

森のようちえんが保育を展開するびわこ文化公園西ゾーンの環境整備は、環境ボランティア団体：森の風音が継続的に保育環境の整備作業を行い、協働体制が進んだ。ようちえん園児が整備作業に関わることで、自然への理解と自ら環境整備を行うという貴重な体験を蓄積できた。

#### **2016年度**

保育フィールドの一角で、森の風音会員と、園児・保護者、および保育スタッフが協働して植栽作業を行った。

#### **2017年度**

2017年度の植栽作業を上記の通り行った。その結果、公園内モミジ林の整備が進み、森のようちえんの保育フィールドとしての活用が広がった。

#### **2018年度**

植栽場所にはシカが出没して食害が見られるようになったため、シカが食べない植物を植栽して環境整備を進め、今後の食害を防ぐ手立てを講じた。

#### **[調査研究事業]**

#### **2017年度**

2017年5月に岡山で開催された日本保育学会で発表した。

2017年9月に論文発表を行った。

2017年11月19日に「森のようちえんリレーセミナー」を龍谷大学で開催した。

2017年11月3日に東京で「森のようちえん全国交流フォーラム」で発表した。

#### **2018年度**

2019年2月10日 森のようちえん しがフォーラム「森から子どもの育ちを問い直す」を開催した。参加者80名。

2019年3月19日 日本発達心理学会にて、「フォーラム森の幼稚園（1）」を実施した。

2019年5月4日 日本保育学会にて、ポスター発表「ナチュラル・キンダーガーデンとしての森のようちえんにおける3年間の継続観察」を行う予定である。

2019年11月に、森のようちえんの図書「森のようちえんでの学びと遊び」（仮題）をかもがわ出版から発行の予定である。

#### 4、今後の課題など

これまで植栽を進めてきたゾーンは、長さ約 150m、幅約 30mに及ぶモミジの林床であり、植栽は半分にも及んでいない。さらに、保育環境整備を進める必要がある。

びわこ文化公園所有者の滋賀県庁土木交通部都市計画課と指定管理者：近江鉄道ゆうグループとの連携を深め、保育事業をつつがなく進めていくための協議を積み重ねる必要がある。そのため、現在、滋賀県庁と協働して、現在公園活性化の協議を進めている。

また、調査研究事業の成果を学会発表、論文執筆していくとともに、保育環境における幼児の様子を記した図書を 2019 年度内に発行予定で、様々な形の社会発信を進めるのが課題である。